

乗り越えられない壁はない

校長 柏木博之

8時15分。校舎1階の小学生の教室から聞こえてくる「おはようございます」という大きな声で学校の日が始まります。いつもより少し長い夏休みが終わって、2学期も一ヶ月が経とうとしています。朝夕はめっきり涼しくなりました。

もうすぐ運動会です。毎日校庭からマーチングの楽器の音や踊りのBGM、応援団の掛け声が島に響いています。10月6日(土)の本番に向けて、子供たちは汗びしょりになって練習しています。運動会の練習が苦しいときがあるかもしれませんが、その苦しさは乗り越えられるものです。壁を乗り越えるとまた新しい壁が待っています。目の前の壁を一つずつ越えてほしいです。

思うようにいかないとき、読んでほしい詩を紹介します。

大きなことを成し遂げるために
 力を与えてほしいと神に求めたのに
 謙虚さを学ぶようにと弱さを授かった
 より偉大なことができるようにと健康を求めたのに
 より良きことができるようにと病弱を与えられた
 幸せになろうと富を求めたのに
 賢明であるようにと貧困を授かった
 世の人々の賞賛を得ようとして成功を求めたのに
 得意にならないようにと失敗を授かった
 人生を楽しもうとたくさんものを求めたのに
 おしろ人生を味わうようにとシンプルな生活を与えられた
 求めたものは何一つとして与えられなかったが
 願いはすべて聞き届けられていた
 私はあらゆる人の中でもっとも豊かに祝福されていたのだ



台風を乗り越えた花がまだ生き生きと咲き、見る人を元気づけてくれます。

夏休みに読んだ本にこの詩が載っていました。ニューヨーク大学ラスクリハビリテーション医学研究所の受付壁に、この詩は掲示されています。作者は不明です。作家の神渡良平氏が意識したものです。

硫黄島の皆様、保護者の皆様、10月6日は開会式から閉会式まで子供たちの頑張りに応援をお願いします。

西日本文化協会“離島公演”

24日(月)に福岡にある財団法人西日本文化協会による“離島公演”として楽団『ザ・ローザ』の方々による演奏会がありました。馬頭琴というモンゴルの伝統楽器の演奏を子供達全員が体験させていただくなど素晴らしい演奏のみならず、貴重な体験までさせていただきました。この体験を今後音楽の学習などに生かしていけるものと思います。



八朔踊り

16日(日)に地区の伝統行事「八朔踊り」が行われました。例年二日間にわたって行われていたのですが、今年は、台風の影響で一日だけとなりました。中学3年生の秋田直虎君、平田竜暉君、池田靖嵩君、中村優樹君の4人と、2年生の正野崎聖智君の計5人が参加しました。5人は地区の方々の御指導のもと毎日一生懸命地区での練習に取り組んだり、学校でも練習をしたりして、本番では勇壮な踊りを披露することができました。地域を知り、地域の伝統芸能にふれる大変よい機会となりました。



小学生男子もメンドンに入ってがんばりました。

子ども会キャンプ

1日(土)～2日(日)朝にかけて子ども会キャンプが行われました。1日の夜には、きもだめしやキャンプファイヤーなどの活動もあり、充実した内容で楽しいキャンプとなり、いい思い出ができました。



地区敬老会

22日(土)に地区敬老会が開催されました。婦人会による華やかな踊りや子供たちや青年会などの様々な出し物により、高齢者の方々の長寿を祝いました。これからもますますお元気で長生きされることを心からお祈りいたします。



教育現場体験

中学校の英語の授業に積極的に参加してもらいました。

1日(土)～7日(金)、鹿児島国際大学4年生の西別府光彩(にしべつひかり)さんが、三島小中学校での教育現場体験に参加しました。将来、英語の教師を目指している西別府さんにとって、子供達や先生方とともに実際の学校生活を体験したり、地域の方々と触れ合ったりしたことが、大変貴重な機会となったようです。この教育体験を生かし、教職という夢に向かって今後さらに頑張してほしいと思います。



AED設置

命に関わることなので、真剣に説明を聞きました。

1日(土)に本校にAED(自動体外式除細動器)が設置されました。早速注意事項について、職員全員で確認し、子供達にも養護教諭の蘆園教諭から説明がありました。万が一の時への備えを今後もしっかりとしていきます。

